

第三章 復舊狀況

一、金融機關の復舊

(一) 横濱市

一、市場復舊狀況

(イ) 取引所

株式會社横濱取引所は震災の爲め約壹百萬圓の決算未済金ありしが、一半は取引所一半は取引員組合の負擔とし、其他の難問題を漸次解決して生系取引の業務を開始したるは十一月一日にして、十月末に於ては開市の運に至らず、其後約一ヶ月間一日平均出來高貳萬參千斤、震災前に比し約四分の一なり、米及株式の取引開始に至りては十一月十日頃の見込みなり、景況の不振なるは言を俟たずと雖も、震災前の取引員四十八名中、死亡其他に因りて缺員となりしもの僅かに五名に過ぎず、米穀及株式の取引開始と共に次第に盛況を呈すべし。

(ロ) 市場

横濱市には卸賣市場三ヶ所あり、其中蔬菜市場一、魚市場二、其他公設日用品小賣市場六、私設日用品小賣市場三十八ヶ所ありしが、震災後の復舊狀況左の如し。

一、横濱中央食品市場は全潰焼失したるが、九月二十五日假市場を設備して營業を開始したり、而して出荷は震前に比し三四割を減じたるが、之れ蔬菜類の秋作不良にして、加ふるに震災による被害甚大なるが爲にして其の補給を東京方面及遠く東北乃至北海道地方に仰ぎつゝあり。

二、横濱魚市場及神奈川魚市場

横濱魚市場及神奈川魚市場は共に全潰焼失したるも、前者は九月廿五日後者は九月中旬各々假市場を設け營業しつゝあり、當時の取引高は震災前に比し約六割を減じたるも、漸次回復して震災以上の活況を呈する有様なるが、此現象たるや蔬菜不作にして、高價なる所へ魚價甚低廉なりし爲一般の需要多きが故なり。

三、公設市場

横濱市公設日用品小賣市場は震災に依り四ヶ所全焼したるが、市は之が復舊に努め、更に十六ヶ所を増設し九月中旬より業務を開始するに至れり、取引狀況は震災前に比し三、四割を減少したるも、生活必需品は寧ろ震災前以上の取引高を見る状態なり。

四、私設日用小賣市場

私設市場は市内三十八ヶ所ありて、今回震災により焼失したるもの三十ヶ所、他は全部全潰して其の蒙れる損害も甚大なるものと認められ、全潰せしものは直ちに復舊し、營業を繼續し居れるも焼失したるものにして假市場を設けて開業せるもの僅に五ヶ所、其他は未だ復舊の運に至らざるが、近く何れも起工し復舊するものゝ如し、取引狀況に於ては一般商家未だ復舊せざるを以て、市場の取引は頗る良好にして、震災前より三四割の増加を見るに至れり。

二、商店の復舊狀況

(1) 著名なる商店の開業其他の狀況

本市の商業中心地たる關内關外共に烏有に歸し、從て市内著名の商店にして類焼を免れたるものなし。

然れ共吳服、食料品等の日用必需品販賣商店は焼残りたる神奈川保土ヶ谷磯子本牧蒔田町方面に避難して、直ちに假營業所又は出張所を設け、一般市民の需要に應じ、焼跡の整理と共に従前の地所に假建築をなし、營業を開始せるものありと雖も其數四割内外なり。

主なる商店の開業状態左の如し。

商店名	取扱品目	開業年月及見込
野澤屋吳服店	吳服、雜貨	十月十日より市内四ヶ所に出張所を設け販賣
鶴屋吳服店	吳服、雜貨	十月十八日より市内二ヶ所にて營業開始
相模屋吳服店	吳服、雜貨	十月十四日より市内十ヶ所にて營業開始
田邊商店	砂糖、麥粉	十月二日
菅沼藥店	藥種	九月二十八日
稻垣商店	同	十一月一日(見込)
有隣堂	書籍、文房具	十一月二十日(見込)
鳳林堂	文房具	十月十五日
田中商店	茶	十月十三日
八木商店	酒、醬油	十月八日
森田屋	木材	十月二十日
竹内商店	木炭	十月四日
藤島洋品店	洋品	十月一日

竹内肉店	牛	肉	十月二十日
望月商店	米	穀	十月五日

(ロ) 一般商店の復舊狀況

趨要の地區にある一般商店は、其土地の商業權利を得んが爲め燒跡を整理し、營業開始を急ぎつゝありと雖、場末の地區に於ける商店は、此際都市計畫の決定を待ちて、半永久的の建築に着手する意嚮の如く、又火災保險金の支拂如何は開業に大なる關係を有す。

其の開業狀態左の如し。

業種	震災戸數	現在開業戸數
呉服	八一	三〇
砂糖問屋	二五	五
家具	一三二	一〇〇
藥種	五五〇	二五〇
旅具	二〇	五
陶器	六〇	二〇
靴	二〇〇	五〇
菓子	五〇〇	三〇〇
書籍、文房具	一〇〇	一五

三、銀行會社の復舊狀況

(1) 銀行

茶	六〇	一〇
酒	六〇〇	三〇〇
醬	一三二	一〇〇
油	一、二一〇	五〇〇
炭	五〇	三〇
木	八〇	三〇
米穀	五九	五九
問屋	一五〇	一〇〇
硝子	一二〇	二五
雜貨、荒物	五八	三〇
糸綿	五〇〇	二〇〇
金物	五〇	二〇
乾物	一五八	一〇〇
小間物		
洋品		

横濱市内の銀行は特殊銀行を除きて十七行外に各支店二十三行あり、震災後の復舊狀況に關しては、當業者種々談合の結果九月廿五日一齊に開業せり、唯株式會社農工銀行のみは最も早く、同月十八日營業を開始したり、

而して右營業開始後の狀況を見るに、預金益々減少の状態に在るは、預金者の殆んど全部が罹災者なるが故なるべし。特に十月一日以降モラトリウムの撤廢と同時に、市内に支店を有する向は本店と纏まりて業務を取扱ひたる關係上一時非常の混雜を呈したるのみならず危険なる流言等起り、當業者は勿論關係者は常に慎重の態度を以て之に臨みたる結果特記すべき事故の生ぜざりしは幸なりしと雖も、株式會社辛酉銀行橫濱支店及び同翁町、蒔田町、本牧、千代崎町各支店の震災後未だ開業の運に至らず、該行預金者の困憊想像に余りありき、續て一時他行と歩調を共にして開業せる株式會社戸部銀行は、十月十三日に至り資金の缺乏を告げたる爲再び休業し、以て今日に至れるあるも、同行は其後着々預金者と協定し、近く橫濱興信銀行援助の下に開業する豫定なり、銀行業者の復舊狀況大略右の如くなるも、當業者中には擔保となるべき有價證券等の燒失せるもあり、其結果意の如く速に資金の調達を爲し得ざるもの等もあるべく、従つて市民の最も緊要とする復舊資金の貸出に就ても、資金の不充分、債務者の擔保の充分ならざる關係より充分なる貸出は得て望むべからざる状態に在りと認めらる、只株式會社神奈川縣農工銀行にて引受けたる低利資金の融通は、遂日實行せられつゝあれば、漸次商工業者の復舊と共に、銀行業者亦所有財産の整理を完了し、得て弗々舊態に復しつゝありと言ふを得べし。

橫濱市内所在地各銀行の營業開始月日等左の如し。

行名	營業開始月日	備考
株式會社 橫濱興信銀行	九月二十五日	神奈川、元町、伊勢佐木町野毛各支店共
同 左右田銀行	同	神奈川、戸部、松ヶ枝、壽、野毛各支店共
同 渡邊銀行	同	尾上町支店共

同	第二銀行	同
同	橫濱商業銀行	同
同	橫濱貿易銀行	同
同	岡丸銀行	同
同	元町銀行	同
同	戶部銀行	同
同	平沼銀行	同
同	平沼貯蓄銀行	同
同	都南貯蓄銀行	同
同	上信銀行	九月二十五日
同	橫濱銀行	同
同	合名會社 若尾銀行	同
同	誠資銀行	同

橫濱市内に支店を有するもの

行名	營業開始月日	備考
株式會社 三井銀行支店	九月二十五日	
同 十五銀行支店	同	
同 第百銀行支店	同	

神奈川支店共
野毛、神奈川各支店共

同	東京貯藏銀行支店	同
同	川崎銀行支店	同
同	川崎貯蓄銀行支店	
同	藤本ビル ローカー銀行支店	九月廿五日
株式會社	住友銀行支店	同
同	安田銀行支店	同
同	辛酉銀行支店	休業中
同	日本晝夜銀行支店	九月二十五日
同	帝國貯蓄銀行支店	同
同	戸塚銀行支店	同
同	共信銀行支店	同
同	神奈川縣農工銀行	九月十八日

神奈川支店

神奈川、吉田町各支店共

(ロ) 會社

商事會社

本市の商事會社は大半貿易に關係を有し、是亦殆んご燒失し、殘存せるものなし、震災地外に本店又は支店を有する會社は、不取敢本支店の所在地に避難して營業を繼續し、之等の便宜なきものは燒跡を整理し、假事務所

を設け營業を繼續したりと雖、都市計畫の決定發表なき爲め、關内關外の趨要商業地域の會社は事務所及倉庫の建築着手を躊躇し、運送、土木、建築請負業の如き特殊なるものを除き、開業遅々たるものゝ如し。

主なる業種別の開業状態左の如し。

業種	震災數	現在開業數
貿易	四四	一〇
米穀雜穀	一八	五
土木建築請負	一四	一〇
織物賣買	五五	一〇
織物加工	一九	五
海産乾物罐詰	一九	五
倉庫	一一	三
雜貨	七八	八
生糸	二九	一〇

工業會社

横濱船渠株式會社を始め本市工業會社は、大小共に燒失又は倒潰し、従前通りの操業を繼續するもの殆んどなし、而して震災當時職工百名以上を有せる會社に於て、十月中に一部の操業を開始せるもの五會社、大部の操業を開始せるもの三會社なり、尙十一月中に操業開始見込のもの二會社、明年一月開始見込のもの一會社、復舊未定のもの六會社、復舊見込なきもの二會社、復舊不明のもの三會社の状態にて、其他小資本の會社に於ても操業

開始のもの二割内外にして、復舊容易ならざる状態なり。
 主なる會社の開業状態左の如し。

會社名	業種	開始年月及見込
東洋電機製造株式會社	電動機	十月中一部
株式會社禪馬鐵工所	汽罐機械	同 一部
株式會社渡邊船渠	造船	同 大部
浦賀船渠橫濱工場	造船	同 一部
東京製線株式會社	電線	同 大部
橫濱製鋼株式會社	製鋼	同 一部
日本樂器製造株式會社	樂器	同 一部
株式會社倉田組鐵工所	機械	同 大部
橫濱船渠株式會社	造船	明年一月一部
古河電氣工業株式會社ケーブル工場	電線	十二月大部
日本ベニヤ製材株式會社	製材	十一月一部
神奈川コークス株式會社	瓦斯コークス	十二月全部
株式會社橫濱工作所	機械	十一月一部
永松鉛製造株式會社	鉛	未定
株式會社服部商店	綿紡	見込なし

龍華絹糸紡績株式會社	絹	紡	見込なし
横濱紡績株式會社	綿	紡	未定
宮川メリヤス製造株式會社	メリヤス	ス	不明
ライジングサン石油株式會社平沼油槽所	製	罐	不明
横濱ゴム製造株式會社	ゴ	ム	未定
帝國蓄音器商會	蓄音器	器	不明
メトロ電球株式會社	電球	球	未定
東洋麻糸紡績株式會社	麻	紡	未定
福音印刷株式會社	印	刷	未定
キリン麥酒株式會社	麥酒	酒	見込不明

(二) 横須賀市

一、市場復舊狀況

(イ) 魚市場

九月十二日開業し、出荷高及販賣高は震災前の約五割にして、十一月に至らば舊狀に復する見込。

(ロ) 青物市場

二、商店復舊狀況
 九月中頃開業したれども貨車不便の爲重に地方産物のみにして、震災前の約七割。

著名なる商店は九月二十日頃より開業を成し、物資の供給に於ては殆んど復舊す。

種別	戸數	種別	戸數
米薪炭酒商	一五五	賣藥商	六二
青物商	一八〇	下駄商	七五
菓子	一五六	自轉車商	二二
雜貨商	一、七九一	豆腐商	三九
洋服商	三一	待合	二五
行李靴商	九	物品貸付	六八
吳服太物	三九	肉商	一八
魚商	二四	材木商	二二
時計商	二六	宿屋	四四
瀬戸物	一三	調髪店	二三四
書籍	二二	周旋屋	二一
金物屋	四二	家具業	八
代理業	八二		

以上大約開店數にして震災前の約九割に相當す。

湯屋	四七	運送業	一五一
請負業	一七五	飲食店	八〇〇

以上大約開店數にして震災前と大差なし。

三、銀行會社の復舊狀況

- (イ) 重なる銀行は九月二十三日開業一般銀行は同月二十五日より開業し、預金の預入、引出等殆ど震災前と同じ。
- (ロ) 會社に於ても殆ど復舊す。

(三) 三 浦 郡

一、市場復舊狀況

浦賀町 魚市場 九月廿日開場。 青物市場 九月十六日開場。

兩市場共震災前一ヶ月取引高五千圓に上りしもの半減す。

田浦町 青物市場 九月八日開場。

開場當時は災前に比し三四割減、十月末日に於ては舊に復す。

三崎町 町營魚市場 九月廿八日開場。

取引高三割減、之れ魚獲少きと魚價低落せるに由るものなり。

逗子町 青物市場 九月十四日開場。

十月末現在取引高約一割減

魚市場 十月十五日バラックにて開業。
全部焼失せるものなり、取引高震災前に比し約半減、其理由は三崎町に於けると同様なり。

二、商店の復舊狀況

浦賀町

(イ) 著名なる商店にして焼失乃至全半潰等を被りたるものは、今尙引續き休業状態に在るもの少からず。

(ロ) 一般商店の復舊狀況に關しては、本町は被害激甚なると運輸の便を缺くとに依り物資の需給完全なる能はず。

且つ町の生命とも稱すべき浦賀船渠株式會社舊態に復せざるが爲め、震災前に於ける商家の概數左記の如き中營業を開始せるもの（十月末現在）約八割餘に達すべきも一般に沈靜活氣なし、建築材料の供給不充分なるは特記すべし。

震災前に於ける商家の種類別員數

米穀酒類商	六十戸
呉服織物商	八戸
菓子小賣商	三百戸
青物果物商	廿五戸
魚商	百五十戸
金物船具商	十戸
煙草、雜貨商	二百戸

飲食店、料理店、旅館

三十戸

田 浦 町

(イ) 本町に於ける著名なる商店は震災後三四日休業せるも、其後弗々營業を開始し、現在は舊に復せり。
(ロ) 一般商店に於ては遅きものも、九月十五日頃迄には開店の運に至り、其數に於て震災前と大差なく、殆んど全部開業せり。

三 崎 町

(イ) 本町著名の商店にして焼失全潰等の被害を蒙りたるものなく、一二を除き震災後幾何もなく營業を開始せり。
(ロ) 一般商店中比較的被害輕微なるものは、震災後直ちに營業を開始し、全潰等の被害者も應急建築に依り十月末には殆んど大体震災前と同様の状態に返れり、只魚價低落等に依り景氣引立たず。

震災前に於ける商家の概數左の如し

米穀、酒類、雜貨商

七十五戸

呉服織物商

八戸

菓子小賣商

十五戸

青物、果物商

十戸

魚商

百二十戸

飲食店、料理店、旅館

三十七戸

子 町

(イ) 本町著名の商店は、概ね相當の被害を蒙らざるなきも、皆應急修理等を爲し、震災後數日間休業せるは勿論な

るが次第に營業を開始し、現今に於ては震災前と殆んど同様の状態に移りつゝあり。

(ロ) 一般商店は九月二十日頃より漸次開業し、震災前の商店數と大差なきに至れり。

葉山 村

(イ) 著名の商店は皆相當の被害を受けたるも、應急修理を加へて震災後數日にして開業するに至り、目下災前と同様の状態に移りつゝあり。

(ロ) 逗子町と略同様九月二十日頃より漸次開業し、數に於て災前と大差なし。

三、銀行會社の復舊狀況

浦賀 町

本町に於ける銀行は左記一支店のみにして九月二十五日開業、現に午前十時より午後二時迄を營業時間とせり。

株式會社關東銀行浦賀支店

一時拂出多かりしも漸次預入を増し、信用從來通りにして預金者も相當にあり。

拂出の狀況は預金者が家屋の復舊、バラック建築の資金に充つるの外、本建築等は材料の入手意の如くならざる上一般商況も不振なるを以て多額の引出なく、銀行が貸出手控への方針を採れるも、一般資金の融通に迫らるゝ模様なく金融緩慢なり。

會社方面に於ては本町の生命たる浦賀船渠株式會社工場は、震災の被害に依り其能力の大部を滅殺せられ、目下復舊整理と一部營業の爲、毎日社員三分の一、職工約六百人從業し居れ共、震災前の營業状態に復する時機未詳なり。

其他の小會社六七社中、一、二を除きては休業中なり。

田 浦 町

左記二店は何れも九月二十八日開業、開業當日に於て拂出約七千圓、預入約四百圓、第二日より拂出約半減し、預入次第に増加し、現在拂出に於て約參萬圓超過し居るが、家屋修繕假建築等に充つるものゝ如し。

關東銀行浦郷代理店

戶塚銀行田浦支店

會社は田浦土地建物株式會社、田浦商事株式會社あり、營業同一にして震災後は土地擔保貸付等にて、震災前に比し稍好景況なり。

其他海運業を主とする本支店は活氣を呈しつゝあり、之れ陸上運輸機關不備なりしに依る。

三 崎 町

本町所在の銀行二支店中、鴻巣銀行支店は五月中臨時休業の儘にあり、關東銀行三崎支店は九月二十一日營業開始、現今尙三時間從業す。

預金は震災前の二割弱減、拂出預入共に震前に比し減額を示す、資金の需要關係は左程繁忙に非ず、金融緩慢なり。

海運會社一社一支店に至りては魚類、貨物、旅客の運搬共事業震災前の約三分の一に減ぜり。

其他の會社中電燈會社は九月二十一日より開業、鐵工所は休業中にて一般景氣不況。

逗 子 町

鎌倉銀行逗子支店、關東銀行逗子代理店共に九月二十八日開業、現在に至りては拂出、預入大差なきに至れり。會社は一社、震災前より引續營業中。

葉山村

鎌倉銀行葉山支店
共信銀行葉山支店
鎌倉銀行一色支店

右三支店共九月二十八日營業開始、其當時は拂出高の二分の一の預入あり、其後追々増額したれ共、本村は震災後直ちに木材の輸入ありしたため家屋の本建築をなせる關係上、拂出高増加の傾向あり。
會社は日本加工織布株式會社は防水布の製造を續け、他一社は目下休業中なり。

(四) 鎌倉郡

一、市場 復舊狀況

腰越津魚市場 十月一日より開業

鎌倉食品市場 同

戸塚青物市場 同

開業後の營業狀態は震災前に比し、荷主、問屋及小賣業者共に三割以上の減少を來たせるも、漸次舊に復しつゝあり。

二、商店の復舊狀況

燒失區域に於ける著名なる商店は、假營業場等に於て營業を開始したり。

燒失區域を除きたる商店は吳服商、金物商、其他一般商店にして、開業せるもの震前の六割位と認む。

三、銀行會社の復舊狀況

(イ) 銀行は部内一齊に九月廿八日開業し、其後の預入拂出狀況は殆んぎ伯仲の間に在りと雖も、拂出の方約二分五厘の増額を示したるが漸次拂出緩慢となり、近く舊に復する見込。

(ロ) 會社の主なるものは日本葡萄酒株式會社戸塚工場の建物全部倒潰し、京濱電力株式會社戸塚變電所の倉庫等全潰、本館にも龜裂を生じたるが、京濱電力の如きは震災後二、三日にして、各地に電氣の供給を爲したり。

日本葡萄酒亦復舊に努めつゝあるが、之を要するに本郡所在の各會社は大部分追々復舊するものと認む。

(五) 橘 樹 郡

一、市場復舊狀況

本郡に於ては魚市場、取引所は既設のものなし。

青物市場は目下夫々舊態に復しつゝあり、即ち川崎町に於ては九月十五日、鶴見町に於ては九月四日何れも開業せり、但し當時は生産地との交通不便、其他に依り商品の集散思はしからず、十月末に至りて漸く略ぼ常態に復したり。

二、商店の復舊狀況

著名なる商店の開業、其他の狀況、並に一般商店の復舊狀況

川崎町、保土ヶ谷町、潮田町等に在りては大商店の大半(保土ヶ谷町の如きは殆んぎ)は全潰、半潰、若くは大破したれ共火災なかりし爲め復舊割合に早く、川崎町、潮田町等は震災後二、三日にして續々開店(全潰、半潰等のものは假營業場にて)せり、鶴見町は被害比較的少なかりし爲、震災後三日、川崎町、潮田町等は震災後十日頃

には殆んど全部の開店を見たり、開店後は川崎町の如きは一時町内外の顧客の外、京濱沿道筋に當れるを以て往來の客多く、震災前以上の盛況を見たり、然れ共運輸の關係圓滑ならざりしと、仕入先の焼失等に依り品切の憂ありたれ共、交通機關の漸次整ひしと、縣當局の斡旋に依る物資の拂下と相俟ち、十月末に於ては略々常態に復しつゝある趨勢を辿れり。

三、銀行會社の復舊の狀況

本郡主要地の銀行は何れも震害を蒙りたれども、九月中旬頃より一般に開業し、縣下諸銀行に魁たる觀あり、預金拂出の關係は、川崎町等に於ては小口の引出頗る多く、引出超過の狀況に在り。

會社方面に於ては大會社大工場は全潰、若くは半潰したるもの多く、應急工事中にして、目下作業開始中の二、三工場を除きては、年内に一部の作業を開始するもの多き見込なり、小工場は比較的被害少なく、九月中旬頃には作業を開始したるもの多く、目下殆んど平常に復せり。

(六) 中 郡

一、市場復舊狀況

郡内魚市場五ヶ所共、何れも震災の爲め被害を受けたるも、應急修理の上十月中旬より營業を開始せり。

青物市場も同様其被害を蒙りたるも、何れも十月中旬より營業を開始せり、市場は震災前に比し閑散なるは言ふに及ばず。

二、商店復舊狀況

(1) 著名なる商店と稱すべきは無しと雖も、本郡秦野町に於ける重なる商店にして、震火災のため店舗の建築又は

修理の爲復舊に時日を要するものあれども、他は夫々十一月初旬に於て常態に復せり。

(ロ) 一般商店の復舊狀況

呉服商、小間物商、雜貨商、米穀肥料商、酒醬油販賣商、其の他一般の販賣業は何れも其の九〇パーセント以上開業せること確實と認む、酒醬油醸造業者は破損大なる爲め假營業中にあり。

各種の營業に付て見るに震災前に比し其數に於て幾分減少の傾向ありと雖も甚敷變動なきが如し。

三、銀行會社の復舊狀況

銀行は九月二十七日以降營業を開始せり、其初め拂戻等に關し制限を設けたるも己に之を撤廢せり、十月上旬迄は拂戻の口數、金額超過の傾向にあり、十月中旬よりは預金者増加し、其後次第に震災前と大差なきに至りつゝあり。

金融狀況に付て視るに一般銀行其貸出に制限を加へ、金融上幾分圓滑を缺くが如しと雖も一、二の銀行に於ては特に救濟の意味に於て、便宜低利に貸出を實行しつゝあり、其貸出額震災前に比し多額なるが如し。

會社の復舊狀況に關しては、相模紡績株式會社を其尤なるものとするものなるが、同社は目下休業中に屬すれども着々工を急ぎ、事業を開始せんとしつゝあり。

(七) 高 座 郡

一、市場復舊狀況

本 郡 市 場

藤澤食品市場、株式會社茅ヶ崎青物市場、株式會社寒川青物市場、株式會社茅ヶ崎魚市場茅ヶ崎日用品市場、

右市場の中茅ヶ崎日用品市場は認可後開業の計畫中の處、震災の爲開業の運びに至らざる状態なり。

他の市場は皆大なる災害もなく、九月下旬何れも開業せる状態なれども、青物市場は震災に依り秋野菜の生産及び出荷減少し、前年同期に比すれば約二、三割方減少の模様なり、魚市場は震災の爲近海漁業中止せられ、十月に入り漸く出漁せる状態にして、出荷數前年に比し激減し、約半數に到らざる有様なり。

二、商店の復舊状態

本郡に於ては著名なる商店として特記すべきものなし。

一般商店の復舊狀況に就ては目下調査中なれども、大体に於て專業者は開業を爲したる狀況なり。

乍然本郡の主なる商業地藤澤、茅ヶ崎、御所見、寒川、澁谷の各町村は震災甚しき爲に、ブラックに於て閉店せる狀況なり、兼業者又は小賣業者にして、資金其他の關係上閉店の止むなきに至りたるもの約一割五分位ある見込なり。

三、銀行會社の狀況

本郡所在の銀行にして全潰せるものは二行、其他は半潰の程度に止まる、右は何れも九月下旬より假營業場等に於て開業しつつあり。

預金及拂出關係は十月末に於ては各預金者災害家屋の復舊及商業取引復活等の爲、引出額増加の趨勢にあり、然れども銀行營業上に大なる影響を及ぼすが如きことなし。

(八) 足柄上郡

一、市場復舊狀況

本郡に於ける繭取引市場は震災に依り大損害を被り、乾繭機も亦破損せられ、目下開業の準備中にて明年の春蠶期迄には開業の豫定なり。

二、商店の復舊状況

(イ) 著名なる商店の開業其他の状況

特に記すべきものなし。

(ロ) 一般商店の復舊状況

呉服其他雜貨商

震災當時は交通杜絶のため在庫品の販賣を爲すのみにて、殆んど需要を充す能はざる有様となりしが、交通回復と共に商品を仕入し、營業を爲す、全潰せられたる商店は假營業所を設けて營業をなす者、或は本建築を爲しつくあるものもありて、從來通り總ての商店は營業を開始す。

肥料商

震災當時は一般在庫品なく、營業を中止するの止むを得ざりしが、交通の回復と共に少許づつ現品を取寄せつくあるも、尙需要を充す能はず。

右の外一般商店は假營業所を設け、或は從來の店舗を修繕し、營業を開始せり。

三、銀行會社の復舊状況

銀行は震災當時即ち九月一日より同月十六日迄整理を爲すため休業し、翌十七日より一般に開業せり。預金は相當に有り、拂出は始め銀行業者の方針より小額に止めたるが、取引は極めて平穩に行はれたり。會社としては運送業者の如きは從來通り開業す。

水力電氣會社は發電所全潰の爲修繕中にして、修繕濟次第送電の豫定なり。

(九) 足柄下郡

一、市場復舊狀況

(イ) 魚市場

株式會社小田原魚市場は九月十七日より營業開始、取扱高約半減

(ロ) 青物市場

株式會社小田原青物市場は九月十日より業務開始、取扱高は震前の約四分の三、青物類は目下約一割方の騰貴を示せり、前記兩市場は九月中無手数料にて取扱ひせり。

二、商店の復舊狀況

(イ) 著名なる商店の開業其他の狀況

二、三著名商店を除きては、大方バラック内に於て營業を開始せるも、極めて貧弱なるものなり。

(ロ) 一般商店の復舊狀況

小田原町所在の各官公署焼失せるに依り調査資料不足し、明確なる商業別調査は出來難きも、焼失區域内の震災前に於ける商店數は貳千貳百戸を算すべく、而して昨今開店せるは約三分の一程度、何れも應急的の「バラック」商店なり。

三、銀行會社の復舊狀況

(イ) 本郡各銀行は九月卅日迄全部營業を開始したるが、其中小田原町所在の十三銀行は大部分預入金に比し引出額

の超過を見たるが、其額巨額に達せざるを以て銀行界は平穩たり、其他一般金融は震災後殆んど現金主義の取引となり、未だ以て巨資を投じて事業の擴張等を計るものなき關係上、其逼迫を感ずる程度は、想像する程には非ず。

(ロ) 會社方面に於ては其主なるものは、小田原電氣鐵道株式會社なるが、十月十七日來電車部を除きたる電燈、電力の供給、並に一部自動車に依る運輸業を開始せり。

(十) 愛 甲 郡

一、市場復舊狀況

繭絲取引所、食品市場未だ復舊に至らず。食品市場は十一月末頃事業開始の見込。

二、商店の復舊狀況

(イ) 厚木町に於ける重なる商店は點々開業しつつあるも、概して小規模の商業に止まれり。

(ロ) 一般商店の復舊狀況

主として厚木町に於ける重なる商業の開店數は荒物商十戸、呉服商四戸、金物商一戸、青物魚類商各五戸にて前記の如く何れも小規模にして、復舊の道未だ遠く、同町の全焼に依り商店數は比較し難し。

三、銀行會社の復舊狀況

銀行會社は大体に於て復舊の状態に到れり、金融狀況も亦同じ。

(十一) 津 久 井 郡

一、市場復舊狀況

中野生糸賣買市場は既に復舊せり。

二、商店の復舊狀況

(イ) 著名なる商店と目すべきものなし。

(ロ) 一般商店の復舊狀況

一般商店は何れも開店し、震災前に復舊す。

三、銀行會社の復舊狀況

銀行は株式會社農工銀行出張所あるのみなるが、預金拂出及貸付其他何れも震災前と變化なし。

會社は何れも復舊せるも、織物會社は生産品賣行及金融の關係上、現金取引なる爲未だ完全に復舊せず、取引關係の震災前に復舊するは、尙一ヶ年間を要するものと思惟す。

(三) 久良岐郡

一、市場復舊狀況

本郡内金澤村洲崎に於ける食品市場(青物市場)は被害輕微にして、十月中旬より開市し居れりと雖も、當地方一般に震害甚大なりしたため、菜類の需給狀況圓滑を缺き、災害後一時市場の休業状態を見るや、販路に窮したるものは直接返子鎌倉等の町民に販賣するもの不尠、爲に現市場は衰微の傾向あり。

二、商店の復舊狀況

(イ) 本郡内には著名なる商店と目すべきものなし。

(ロ) 一般商店の復舊状況

部内の商店営業種目を廿四に細別して調査するに、震災前の店数九百五十九、十月末開店数七百四十三、比較減二百十八を算せり。

三、銀行會社の復舊状況

本郡に於ける唯一の銀行たる戸塚銀行金澤支店は九月二十八日より開店す、十月末に於ては預入より拂出の方多く一般金融状態ならず。

(三) 都 筑 郡

一、市場復舊状況

該當なし。

二、商店復舊状況

極めて僅少の商店を除くの外何れも開業せり。

三、銀行會社の復舊状況

本郡新田村合資會社石橋銀行は、震災の影響を受け休業整理中、其他の瀬谷銀行支店は震災前同様營業を繼續せり。

二、工場復舊状況

(一) 工場法適用工場被害表

賀 須 横		市 濱 横				別 郡 市								
場 工 害 被	小 計	全 燒	半 燒	全 潰	半 潰	合 計	被害なき工場	小 計	全 燒	半 燒	全 潰	半 潰	業 科 別	
													職工數	職工數
	三					一〇六	一三	九三					工場	染織工場
	六					三、九〇六	五四	三八五					職工數	職工數
	二					八八	三	八五					工場	機械器具工場
	一五					九、一五	三一	九、〇八四					職工數	職工數
	一					六三	四	五六					工場	化學工場
	一					一、七三六	九六	一、六四〇					職工數	職工數
	一					一五		一五					工場	飲食物工場
	九					六九		六九					職工數	職工數
	四					五三	三	四九					工場	雑工場
	七三					二、一六〇	一三	二、一四七					職工數	職工數
	一					二		二					工場	特別工場
	三五					一八七		一八七					職工數	職工數
	二					三九	一三	三〇二					工場	合 計
	一三八					一七、七三三	一九四	一七、五三九					職工數	職工數

第三章 復舊狀況 二、工場の復舊狀況

岐 良 久					郡 樹 橋					市			
場	工 害 被				合 計	被害なき工場	場	工 害 被				合 計	被害なき工場
	小 計	半 潰	全 潰	半 焼				全 焼	小 計	半 潰	全 潰		
					一五	七	八	四	二		二	五	二
					九、四三二	三五	九、三八六	三九	五、三八		四、〇一九	九	三
					一八	四	一四	二	三			二	
					五、八五二	五八	五、七九三	五、二三	五八〇			一五	
一		一			一五	二	一三	九	四				
二八		八			二、三四	一〇	二、二四	一、五二	六九三				
					四	一	三	一	二			一	
					八九三	六四	八三八	一四五	六八三			九	
					三	二	一	一				五	一
					二〇四	三四	一七〇	一七〇				九三	一九
												一	
												三五	
一		一			五五	一六	三九	二六	二		二	一四	三
二八		八			一八、五九九	二〇一	一八、三九二	七、〇八八	七、七四		四、〇二九	一六〇	三

第三章 復舊状況 二 工場の復舊状況

倉 鎌					郡 筑 都				郡				
場	工 害 被				合 計	被害なき工場	場 小 計	工 害 被				合 計	被害なき工場
	半 潰	全 潰	半 焼	全 焼				半 潰	全 潰	半 焼	全 焼		
七	四	三			一	一							
九八六	三四三	六四三			二七	二七							
一	一												
九五	九五												
											八		
四	二	一	一										
三三	二六	元	八										
二	一	一											
三	五	二											
一四	八	五	一		一	一							
一一六五	四八三	六七四	八		二七	二七							
											八		

第三章 復舊状況 二、工場の復舊状況

座 高				郡 浦 三				郡				
場	工 害 被			合 計	被害なき工場	場	工 害 被			合 計	被害なき工場	
	小 計	半 潰	全 潰				半 焼	全 焼	小 計			半 潰
三	八	三	一	一〇	八	二	二	一	一	一	七	一
一、一八九	四六四	七三五	一	二二	一八	三	三	一	一	一	九八六	一
一	一	一	一	三	一	三	一	二	一	一	一	一
一	一	一	一	四、〇一五	一	四、〇二五	五、〇	三、五〇五	一	一	九五	一
三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五九	五九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	四	一
七三	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	六三	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一
一	一	一	一	二六	一	二六	二六	一	一	一	二	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二七	三	四	一	一五	九	六	四	二	一	一	一四	一
一、三〇〇	五九五	七三五	一	四、〇二二	一八	四、〇五四	五四九	三、五〇五	一	一	一、一六五	一

第三章 復舊状況 二、工場の復舊状況

津久井					愛甲郡					郡			
場	被害				合計	被害なき工場	場	被害				合計	被害なき工場
	小計	半潰	全潰	半焼				全焼	小計	半潰	全潰		
二	二				二	一	一				一	二	二
四	四				二	二						二	二
												三	
												五	
												三	
												七	
二	二				二	一	一				一	二	二
四	四				二	二						二	二
四	四				二	二						二	二

第三章 復舊状況 二、工場の復舊状況

上 柄 足					郡 中				郡				
場	工 害 被				合 計	被害なき工場	場	工 害 被			合 計	被害なき工場	
	小 計	半 潰	全 潰	半 焼				全 焼	小 計	半 潰			全 潰
五	四	一			四〇	五	三	五		一	八	六	
三七	三九	一四七			三、八二〇	四六	三、七六九	四一	三、三五六		二	一九八	一五〇
					四	一	三	三					
					三六	一	二六	二六					
一				一	二		一		二				
七				七	七		七		七				
					三	一	二	一	一				
					一		一				一		
					一九		一九				一九		
四	二	二					!						
九三	四八	四五											
一〇	六	三		一	五〇	七	四三	二三	一八		二	八	六
五三六	二七七	一九二		六七	三、八七七	五六	三、八二二	四三七	三、三六三		二二	一九八	一五〇

第三章 復舊状況 二、工場の復舊状況

合					郡 下 柄 足					郡			
場	工 害 被				合 計	被害なき工場	場	工 害 被				合 計	被害なき工場
小 計	半 潰	全 潰	半 焼	全 焼			小 計	半 潰	全 潰	半 焼	全 焼		
一九〇	六七	五〇	一	七三	一四	一	一三	五	五	一	三	五	一
二、二八二	一、九五二	一三、七三七	一	六、六〇三	一、六九五	二九	一、六六六	二六	一、六三三	一	七	三七六	一
二二三	三九	一六	一	五六	五	一	五	一	三	一	一	一	一
一九、〇八一	七、一七四	四、七六八	一	七、一三九	四	一	四	八	三三	一	三	一	一
八〇	三五	二〇	一	三三	一	一	二	一	二	一	一	一	一
四、〇四八	二、三三三	八八	三	八二	四	一	四	一	四	一	一	空	一
二八	一〇	五	一	三三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一、六〇二	二八九	七四七	八	五五七	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五八	二	四	一	四三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二、四五六	四三七	二四	五五七	一、四八八	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	四	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五	一
三五	一三六	四	一	一三	一	一	一	一	一	一	一	一九	一六
四七六	一六六	九七	四	二〇九	二	一	二〇	六	一〇	一	四	一一	一
四八、七八二	二、二九七	一九、一九九	五九五	一六、六九二	一、七八二	二九	一、七五三	三四	一、七〇八	一	一〇	五五二	一六

第三章 復舊状況 二、工場の復舊状況

郡 樹 橋				市 賀 須 横							
合 計	近 復 舊 不 可 工 場 及 使 用 見 込 職 工 数	小 計	被 害 工 場			合 計	近 復 舊 不 可 工 場 及 使 用 見 込 職 工 数	小 計	被 害 工 場		
			一 部 復 舊	大 部 復 舊	全 部 復 舊				一 部 復 舊	大 部 復 舊	全 部 復 舊
二	二	九	二	一	二	四	一	四	二	一	一
一、四四〇	九七	四六八	四一	一	三	七	一	七	四	一	三
一五	三	一	四	五	一	二	一	二	一	一	一
五、二六二	七一九	四、五四	二、七五八	一、七二七	五八	六	一	六	六	一	一
一〇	六	四	二	一	二	一	一	一	一	一	一
二、〇三九	一、二五五	七八四	七七四	一	一〇	一	一	一	一	一	一
四	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七二	五六二	一五〇	一〇〇	一	五〇	六	一	六	一	六	一
三	一	二	一	一	二	二	一	二	一	一	一
二二	一六三	四八	一	一	四八	三四	一	三四	二五	一	一九
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	三四	一	三四	一	三四	一
四三	一四	二九	九	五	一三	一〇	一	一〇	五	一	三
九、六六三	三、三七〇	五、九九三	四、〇四四	一、七二七	三	八	一	八七	二五	三四	六

第三章 復舊状況 二、工場の復舊状況

郡 筑 都					郡 岐 良 久							
合 計	近 く 復 舊 す べ き 工 場 及 使 用 見 込 職 工 数	小 計	被 害 工 場			被 害 な き 工 場 に し て 操 業 中 の 工 場	合 計	近 く 復 舊 す べ き 工 場 及 使 用 見 込 職 工 数	小 計	被 害 工 場		
			一 部 復 舊	大 部 復 舊	全 部 復 舊					一 部 復 舊	大 部 復 舊	全 部 復 舊
一		一				一						
七		七				七						
							一		一		一	
							八		八		八	
一		一				二	一		一		一	
七		七				七	八		八		八	

第三章 復舊状況 二、工場の復舊状況

愛 甲 郡				高 座 郡											
合 計	近 く 復 舊 す へ き 工 場 及 使 用 見 込 職 工 数	小 計	破 害 な き 工 場 に し て 操 業 中 の 工 場			合 計	近 く 復 舊 す へ き 工 場 及 使 用 見 込 職 工 数	小 計	破 害 な き 工 場 に し て 操 業 中 の 工 場						
			一 部 復 舊	大 部 復 舊	全 部 復 舊				一 部 復 舊	大 部 復 舊	全 部 復 舊				
二	一	二	一	一	一	二	一	二	一	一	一	二	一	一	一
二	一	二	一	一	二	四	三	四	一	一	四	二	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	一	二	一	一	一	二	一	二	一	一	二	一	一	一	一
二	一	二	一	一	一	五	四	五	一	一	四	二	一	一	一

第三章 復舊状況 二、工場の復舊状況

郡			中				郡 井 久 津				
合 計	近 復 舊 工 場 及 使 用 見 込 職 工 数	小 計	被 害 工 場			合 計	近 復 舊 工 場 及 使 用 見 込 職 工 数	小 計	被 害 工 場		
			一 部 復 舊	大 部 復 舊	全 部 復 舊				一 部 復 舊	大 部 復 舊	全 部 復 舊
三	一六	三三	一	三	一五	三	一	七	一	一	一六
二、九二〇	二、九〇〇	三、〇〇〇	二四	六〇	二〇六	二〇	一	一七	一	一	一九
四	二	二	一	一	二	一	一	一	一	一	一
三六	三三	三三	一	一	三三	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一八	一八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二〇	二〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四	二〇	二五	一	三	一七	三	一	七	一	一	一六
二、九八四	二、九六一	三、〇〇〇	二四	六〇	二〇九	二〇	一	一七	一	一	一九

第三章 復舊状況 二、工場の復舊状況

郡 下 柄 足				郡 上 柄 足							
合 計	近 く 使 用 見 込 職 工 数	小 計	被害 工場			合 計	近 く 使 用 見 込 職 工 数	小 計	被害 工場		
			一 部 復 舊	大 部 復 舊	全 部 復 舊				一 部 復 舊	大 部 復 舊	全 部 復 舊
カ	三	六	一	二	三	五	二	三	一	二	一
ハ	二	七	一	六	三	二七	二	一五	一	四	一
ニ	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	三	四	四	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	一	三	三	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	五	一	四	二	一	一
一	一	一	一	一	一	一三	一七	九	七	八	二
一四	六	八	二	二	三	一	一	七	二	三	三
一三	三	九	五	二	三	三八	四〇	二四	五	六	一

第三章 復舊状況 二、工場の復舊状況

復舊見込なき工場	郡 倉 鎌			郡 筑 都			郡 岐 良 久			郡 樹 橋			市 賀 須 横		
	調査不能工場	復舊未定工場	復舊見込なき工場	調査不能工場	復舊未定工場	復舊見込なき工場	調査不能工場	復舊未定工場	復舊見込なき工場	調査不能工場	復舊未定工場	復舊見込なき工場	調査不能工場	復舊未定工場	復舊見込なき工場
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三四〇	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	九〇	一	一	一	一
一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	七	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	二	一
一	一	六	一	一	一	一	一	一	一	一	五九九	一	一	三	二九

第三章 復舊状況 二、工場の復舊状況

柄足	郡 中		郡井久津		郡 甲 愛		郡 座 高		郡 浦 三	
	復 舊 未 定 工 場	復 舊 見 込 な き 工 場	復 舊 未 定 工 場	復 舊 未 定 工 場	復 舊 未 定 工 場	復 舊 未 定 工 場	復 舊 未 定 工 場	復 舊 未 定 工 場	復 舊 未 定 工 場	復 舊 未 定 工 場
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	9	1	6	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
1	空	7	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	5	1	1	1	1	1	1	1	1
1	空	6	1	6	1	1	1	1	1	1
								合		

計 合	郡下柄足		郡上
	復舊見込なき工場	復舊未定工場	
調査不能工場	調査不能工場	調査不能工場	調査不能工場
三	五	一	一
六四	一六〇	一	一
三	一	一	一
四三	一	一	一
二	一	一	一
四	三	一	一
五	三	一	一
五一	四九	一	一
三	七	一	一
一四〇	一七三	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
四	七	一	一
一六三九	一六三七	一	一

備考 本表中職工数は震災當時の職工数にして調査不能工場に就ては震災前の職工数を参考記入す

(四) 當時百人以上を雇備する工場復舊表

(大正十二年十月末現在)

業 種	工 場 名	工 場 所 在 地	職工数		復舊程度
			震災當時	十月末現在	
電動機及附屬品	東洋電機製造株式會社	横濱市久保町一九七	二七四	一一	一部
汽罐及機械	禪馬鐵工所	磯子町禪馬一	三〇三	一五〇	一部
車輛修繕	横濱市電氣局車輛修繕工場	根岸町三五九	一四一	一三	一部
造船	渡邊船渠	神奈川町三八	一七〇	一〇〇	大部

第三章 復舊狀況 二、工場の復舊狀況

第三章 復舊狀況 二、工場の復舊狀況

機	電	綱	樂	機	絹	車	電	銅	セ	麥	機	造	製	製
械	線	索	器	工	織	繕	球	塊	ト	酒	械	船	糸	糸
浦賀船渠株式會社	東京製線株式會社	横濱製綱株式會社	日本樂器製造株式會社	株式會社倉田組織工所	富士瓦斯紡績株式會社保土ヶ谷工場	京濱電氣鐵道株式會社車輛修繕工場	東京電氣株式會社川崎工場	日本鋼管株式會社	淺野セメント株式會社川崎工場	日英醸造株式會社	東京灣埋立株式會社工場	株式會社淺野造船所	牧野製糸場	川口製糸場
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
大野町二	神奈川町一四四	神奈川一四〇八	青木町三四九七	守屋町三ノ四三	橋樹郡保土ヶ谷町六五	橋樹郡川崎町八二三	川崎町七五二	田島町沙田	田島町大島	沙田町五一六	沙田町埋立地	沙田町二ノ一	足柄上郡金田村金子	鎌倉郡瀬谷村瀬谷
三六	二四	五七	一四	一〇	三、八〇	一〇六	一、四七八	二、〇八九	七四	一四	一五〇	八三	一〇四	一五二
三	一九三	一三〇	一六	七〇	四〇〇	一〇三	一、四七一	一、八三三	七九	一〇	二〇	八七	一〇六	二三
一	大	一	一	大	一	大	大	一	一	一	大	一	全	大
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部

(五) 同上 漸次復舊狀態の工場表

業種	工場名	工場所在地	震災時ノ職工ノ數	復舊時ノ職工ノ見込數	復舊豫定
造船船渠	横濱船渠株式會社	横濱市長住町三	四、五四三	三〇〇	大正十三年一月頃一部復舊豫定
電線	古河電氣工業株式會社ケーブル工場	全 西平沼町一四四	二四五	二〇〇	大正十二年十二月十日復舊の豫定
屑	シーベルヘグナナー商會	全 山下町九〇	二二〇	一四〇	大正十三年一月頃一部復舊の豫定
印刷製本	大川印刷所	全 太田町四	一〇五	一五	十二年十一月頃一部復舊の豫定
金屬品	横濱製鋼株式會社子安分工場	全 子安町一、三九五	二一四	六〇	大正十三年一月頃一部復舊の豫定
製材	日本ベニヤ製材株式會社	全 青木町三、四九七	一〇五	五〇	十二年十一月三十日頃一部復舊の豫定
瓦斯コークス	神奈川コークス株式會社	全 千葉町三ノ一	一六二	一七〇	十二年十一月十五日頃全部復舊の豫定
機械	株式會社 横濱工作所	全 林町一	一七〇	三〇〇	十二年十一月十五日頃一部復舊の豫定
シトロン製塩	大日本麥酒株式會社保土ヶ谷工場	桶樹郡保土ヶ谷町三二	五八三	四八〇	大正十三年一月頃全部復舊の豫定
綿紡	富士瓦斯紡績株式會社川崎工場	全 郡川崎町一〇〇	五、三八	九六八	十二年一月頃一部復舊の豫定
蓄音器及音譜	株式會社 日本蓄音器商會	全 川崎町一二五	四四三	四五〇	十二年十二月中大部復舊の豫定
製糖	明治製糖株式會社川崎工場	全 御幸村南河原	一七九	一五	十三年一月頃一部復舊の豫定
味の素	株式會社 鈴木商店川崎工場	全 川崎町二九六四	五〇四	四三	十三年一月頃大部復舊の豫定
鐵筋鋼材加工	日本トラスコン鋼材株式會社	全 田島町新宿	一三〇	一〇	十三年一月頃大部復舊の豫定
製材木工	鶴見木工株式會社	全 汐田町一ノ三	一七〇	一六三	十三年一月頃大部復舊の豫定
硝子板	旭硝子製造株式會社鶴見工場	全	六三八	六八	右
製糸	持田製糸第一工場	鎌倉郡中和田村上飯田	二五五	三〇全	右

第三章 復舊狀況 二、工場の復舊狀況

第三章 復舊狀況 二、工場の復舊狀況

製糸	全	製糸	全	足柄上郡吉田島村	一四七	一五	舊の豫定
製糸	全	製糸	全	中郡平塚町平塚	二、八六〇	一、六〇〇	舊の豫定
製糸	全	製糸	全	中和田村和泉	二〇〇	六	十二年十一月十日頃
製糸	全	製糸	全	中郡平塚町平塚	三〇〇	六〇〇	十三年一月頃大部復
製糸	全	製糸	全	足柄上郡吉田島村	一四七	一五	十三年一月頃大部復

(六) 同上 復舊未定及當分復舊見込なき工場

業種	工場名	工場所在地	震災時ノ職工數	狀況
アイポリナット	永松卸製造株式會社	横濱市吉田町三一五	一五	復舊の融通を待ちつゝ、
綿紡	株式會社服部商店横濱工場	南太田町八九三	三〇	資力なく復舊の見込なし
絹紡	龍華絹糸紡績株式會社	南吉田町三二五	一七〇	全
綿紡	横濱紡績株式會社	二五	一七〇	復舊未定
電線	古河電氣工業株式會社横濱電線製造所	裏高島町二ノ六	五八	當分工場に於て操業し
瓦斯	横濱水道瓦斯局平沼製造所	西平沼町一〇	一四	未定
メリヤス	宮川莫大小製造株式會社	青木町南幸町三九七	一〇	不明
製罐	ライジングサン石油會社手沼油槽所	青木町内海三六	三五	不明
護謨	横濱護謨製造株式會社	平沼町三丁目	三四	未定

